

●基本情報

施策名	【3】 特色ある農業の形成		評価番号	4-1-3
基本計画	基本方針	【4】 みんなが集まるおもしろいまちづくり		
	基本施策	【1】 魅力ある農業振興		
担当課 (係)	経済課	(農業振興係)	()	()
担当課 (係)	()	()	()	()

●施策の方向 ～PLAN～

施策の方向	<p>○差別販売ができる優良な米を生産するため、有機肥料による特別栽培を推進し、町内産米のブランド化を図ります。</p> <p>○地域農産物を活用した商品開発を推進します。</p>
-------	--

●令和元年度主な取組 ～DO①～

主な取組	①安全・安心な農産物生産の推進					
取組内容	<p>茨城県産農産物に対する消費者の信頼を高めるとともに、より安全で安心な農産物や環境にやさしい農産物を求める消費者ニーズに対応した農業生産を図るため、特別栽培農産物の生産に取り組む町内の農家に対し、認証制度の案内など農産物認証に係る栽培計画承認申請及び、農産物認証申請などの取りまとめを行い、茨城県特別栽培農産物の生産を推進をしています。</p>					
構成事業		事業名	評価		事業名	評価
	1			4		
	2			5		
	3			6		
主な取組	②地場農産物の生産・利用の推進					
取組内容	<p>体験圃場で稲刈りを実施後に乾燥調製施設を見学したほか、お米に関するクイズ大会を行い、記念品として町内産のお米を参加者にプレゼントしました。 参加人数：13人 直売会は平成30年度より開始となっているので、以下のとおり実績を示します。 参加農家数 平成30年度：6名 令和元年度：9名 11月3日に地場産業フェスティバルを開催し地場産業の紹介や、地元農産物の販売、町内産米粉の無料配布、カカシコンテスト、スタンプラリーが実施された他、町内産新米を使った「炊飯米パック」が無料で配布され、多くの来場者で賑わいました。</p>					
構成事業		事業名	評価		事業名	評価
	1	親子稲刈体験事業	拡大	4		
	2	利根町新鮮野菜の直売会	拡大	5		
	3	地場産業フェスティバル事業	現状維持	6		

主な取組	③地場農産物の販路拡大					
取組内容	<p>今年度は隊員募集期間内に求人が来なかった為、職員の研修等で使用した旅費（¥1,684）以外に使用した実績は御座いません。</p> <p>6次産業化事業については、各種行事にて販売し知名度向上に繋がりました。</p> <p>利根町がんばる農業者等支援事業補助金交付要綱に基づき、高付加価値の生産に取り組む農業者（生産者グループ）に対し、土壌改良剤及び食味検査料等の一部を助成する。また、認定審査会の設置についての協議を始めました。</p>					
構成事業		事業名	評価		事業名	評価
	1	地域おこし協力隊事業	縮小	4	利根町地場産業推進事業	現状維持
	2	6次産業推進事業	拡大	5		
	3	利根うめえもんどころ認定事業	現状維持	6		

●事業費 ～DO②～

区分		平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	
事業費	財源内訳	国支出金	円	円	
		県支出金	円	円	
		受益者負担金	円	円	
		地方債	円	円	
		その他	円	500円	1,200円
		一般財源	1,601,000円	2,082,473円	3,192,460円
	事業費計	1,601,000円	2,082,973円	3,193,660円	

●評価 ～CHECK～

進捗状況	<input type="radio"/> 順調 <input checked="" type="radio"/> 概ね順調 <input type="radio"/> やや遅れている <input type="radio"/> 遅れている	現状分析 <p>地域おこし協力隊令和元年度採用に向けて隊員の募集を行ったが、現時点での応募は来ておりません。</p> <p>稲刈り体験は平成30年度の参加者は5人であったのに対し、令和元年度は13人に増加しました。</p> <p>直売会は役場に用事のあるお客様にお立ち寄り頂くことが当初目的でありましたが、近年直売会を目当てに来庁される方も増加していております。また、現状で参加農家数が9名となっているため、出店者増加に向けて更なるPRを行います。</p> <p>6次産業化推進事業では平成30年度にとねりん焼きを販売しました。またTone1グランプリを開催し、ツルクピカポチャのポタージュスープが選ばれ、令和元年度には各種行事にて販売することで知名度向上に繋がりました。</p> <p>地場産業フェスティバルを行うことにより、町内の方だけでなく町外からも多く方にご来場頂き、利根町の産業について知ってもらう機会ができています。それによって町内の産業の推進や地産地消に貢献できています。</p> <p>利根うめえもんどころ認定事業および利根町地場産業推進事業では、慣行栽培で米を生産していた圃場を、特別栽培で高付加価値米を生産するための圃場にするためには、数年は必要となります。また、高付加価値米を生産するための栽培方法も、水稻は1年1作のため時間を要するため、生産者は土壌診断や栽培履歴を作成し最良の栽培方法を研究しているところです。</p>
------	---	---

●改善 ～ACTION～

今後の方向性

引き続き町HPや求人サイトでの地域おこし協力隊の募集を行うほか、周辺の大学などにも求人チラシを配布を行うことで、次年度の採用を目指します。

また稲刈り体験は、田植えから稲刈り・出荷までの一連の流れを体験できる内容で、次年度からは検討をしています。

直売会のPR方法としては防災無線による放送・HPへの掲載・メールマガジン配信を行っていますが、更なる集客を行うためにオリジナルのぼり旗を作成し、イベント開催時に役場周辺に掲示することで、通行人の集客を目指します。

また、町内の農家にツルクピカボチャを安定的に生産していただき、より多くの地産地消協力店に積極的に取扱ってもらいPRしていきます。また町の基幹作物である米についても、おいしく手軽に食べられる炊飯米パックに加工し、町内産の米のPRをしていきます。

そのほか、町の主要農産物である米の消費は年々落ち込んでいるので、地場産品消費量拡大のためには消費者の目に留まる工夫を凝らす必要があります。

うめえもんどころ認定事業については、認定審査会を設置し、認定基準の制定を行います。また、生産については今後生産者の高齢化、規模拡大化が進む中で手間のかからない慣行栽培でなく、手間を惜しまない特別栽培を実践してくれる生産者を確保することが必要であると考えられます。そのためにも、高付加価値米を利根町のブランド米として確立し、高価格で販売できることで生産者の協力を得たいと考えています。